

松阪市立鷺小学校

松阪市立鷺小学校では、6年生27人が卒業制作として、「校庭の木の樹名板作り」に取り組みました。

10月30日(木)には、樹木医で「森のせんせい」でもある末良学さんの指導により、「校庭の木の高さ」と名前調べを行いました。「木の高さ調べ」では、校庭にある一番高い木の高さを、手作りの測高器を使って測り、高さを算出する方法を学びました。また、「名前調べ」では、子どもたちが、資料を見ながら、描かれている木と同じ木を校庭で探して答え合わせを行うことで、校庭にある木について学習しました。

2月には、「名前調べ」で調べた木の樹名板作りを行い、2月19日(木)に、校庭の木に各々が作成した樹名板を設置しました。設置した後は、末良学さんから、樹名板をつけた木や、木が冬期に凍結しないように自らの身を守る工夫をしていることについてお話を伺いました。

これらの授業を通して、子どもたちは校庭の木に親しむことができたほか、樹名板を設置することで身近な木に愛着を持ち、木への理解を深めることができました。

設置した樹名板は、今後、学校での学習に活用します。



木の高さ調べ



木についての学習



木の名前調べ



樹名板の設置

時間	10/30 1時間30分 2/19 1時間30分
場所	校庭、教室
対象者・人数	6年生27人
講師	県が登録する森のせんせい・樹木医 末良学さん
内容	10/30 校庭の木の高さとお名前調べ 2月上旬～中旬 樹名板作り 2/19 樹名板の設置
備考	「みえ森と緑の県民税」を活用した 森林環境教育出前授業 ※10/30と2/19のみ